

## 社会

### ① リサイクルと水道のしくみ

〈解答〉(1)① 1☆☆ ② 3☆☆

(2) スチールかん☆☆

(3) エネルギーの節約につながる☆☆☆☆

(4)A イ☆ B ウ☆ C ア☆

- (1) 資料1のグラフを見ると、2005年にリサイクル率が90%をこえているのはアルミかんの1種類だけでしたが(①)、2020年に90%をこえているのはペットボトル・アルミかん・スチールかんの3種類となっていることがわかります(②)。
- (2) 鉄でできているスチールかんはじしゃくにくっつき、アルミかんはくっつかない性質があります。その性質を利用して、多くの市区町村のリサイクルしせつでは、じしゃくを備えた機械によって、アルミかん・スチールかんの分別を行っています。
- (3) 資料2からは、原料のボーキサイトからアルミニウムをつくる場合に比べて、アルミかんからアルミニウムをつくる場合は、使用エネルギーが100分の3ですむことがわかります。なお、資料にはありませんが、スチールかんをリサイクルする場合も、原料からつくる場合に比べて使用エネルギーは100分の25程度ですみます。アルミかんなどのリサイクルによって、使用するエネルギーを大はばに節約することができるといえます。
- (4) Aは下水処理しせつ(水再生センター)、Bは処分場(うめ立て地)、Cは浄水場にあたります。

### ② 地図の読み取り

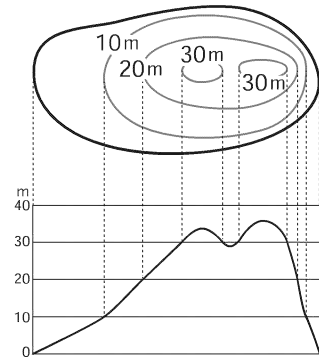
〈解答〉(1)① エ ② ウ ③ オ☆☆☆

(2) イ☆☆

(3)④ こう水☆☆ ⑤ 深さ(高さ)☆☆

(4) う☆☆

- (1) 右側に郵便局を見て進み、左側に見えるのは風車であり、地図上では $\odot$ で示されています(①)。港でうめ立てられたところにあるのは灯台であり、地図上では $\odot$ で示されています(②)。老人ホームのあるところで浜辺に出ると、ちょうど北の方向に島が見えます。老人ホームは、地図上では $\text{H}$ で示されています(③)。
- (2) 島には、同じくらいの高さの山頂が2つあります。地図上の島と、浜辺から見た様子とを比べると、次のようになります。正しいのはイです。



- (3) 問題の図は「想定浸水深」という標識です。学校では習っていないかもしれませんが、水をイメージしたマークや、「1.5m」の表記、「深」という文字などから考えましょう。問題文の「大雨」もヒントになります。
- (4) Aの地点から南の方向に向かうと、つきあたりには、地図上では $\odot$ で示されているかじゅ園(くだもの畑)がありますので、あは正しい内容です。そのつきあたりを東に曲がり、まっすぐ進んでいくと、左手に祖父・祖母の家が見えるので、い・えは正しい内容です。かじゅ園のあるつきあたりを東に曲がりまっすぐ進むと、地図から、「10m」の等高線をこえるのがわかります。10m以下のところから10m以上のところへ進んでいくので、道は上り坂(登り坂)であり、うはまちがいです。

### ③ 都道府県と先人の働き・行事・伝統的工芸品

〈解答〉(1)A 岩手県☆☆ B 東京都☆☆

C 滋賀県☆☆

(2)A ア☆☆ B ウ☆☆ C エ☆☆

- (1)A 「盛岡さんき踊り」の「盛岡」は、岩手県の $\text{H}$ 県庁所在地です。宮沢賢治が岩手県出身であり、同県で活動したことも有名です。
- B 「江戸木目込人形」の「江戸」や、「日本一人口が多い」がヒントとなります。江戸は、古い時代の東京の名前です。
- C 「となりの京都府」から京都府のとなりの都道府県であることがわかります。「日本一大きな湖」は滋賀県の琵琶湖です。
- (2) 都道府県の形と位置は、すべて覚えておきましょう。

4 日本の国土と地形・気候

- 〈解答〉(1)① 山脈<sup>さんみやく</sup>☆☆ ② ぼん地☆☆  
③ 平野☆☆

(2) ☆☆☆

都道府県	平均気温と降水量のグラフ	説明文
①	B	い
②	A	あ
③	C	う

- (3)① エ☆☆  
② あ イ☆ い ウ☆ う オ☆

(1) ①の山脈、②のぼん地、③の平野は、重要な地形です。その意味と、代表的な事例について覚えておきましょう。

(2)① 香川県の地図です。香川県は瀬戸内海に面しており、1年を通じて比較的あたたかく、降水量が少なめである「瀬戸内海の気候（瀬戸内の気候）」が見られます。瀬戸内海に面した地域では、冬の季節風は中国山地をこえるときに、夏の季節風は四国山地をこえるときに雨をふらせ、かわいた風となってやってくるため、1年を通じて降水量は少なめです。

② 静岡県の地図です。太平洋に面している静岡県では、夏の季節風のえいきょうを強く受け、6～7月のつゆの時期や、台風が来る夏から秋にかけての時期に雨が多くなる「太平洋側の気候」が見られます。

③ 新潟県の地図です。日本海に面している新潟県では、冬の季節風のえいきょうを強く受け、冬に雪が多くふる「日本海側の気候」が見られます。

(3)① 日本の北のはしのAは択捉島<sup>えとろふとう</sup>、日本の東のはしのBは南鳥島、日本の南のはしのCは沖ノ鳥島です。

② Eで示された海域は、排他的経済水域です。排他的経済水域は、海岸から200海里までの海域をさし（ただし領海はのぞく）、沿岸の国だけに水産資源や鉱産資源<sup>こうさん</sup>などの天然資源の開発がみとめられています。